

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



2023年9月4日、ODA調査で舞立昇治参議院議員、青山繁晴参議院議員がカニヤマ病院を視察し、アストリダ・マセカ保健部長、ウィルソン・ムベウェ病院長、法月正太郎チーフアドバイザーの歓迎を受けた。

ODA調査で
日本の参議院議員が
ザンビア保健セクターへ
の継続的な協力を理解

カニヤマ病院
部門表彰式で
小児科が最優秀部門賞
を受賞

感染の連鎖を
断ち切るための
感染予防管理 (IPC)

フォト・フォーカス



ODA調査で日本の参議院議員が視察し、 ザンビア保健セクターへの継続的な協力を理解



日本国旗とザンビア国旗を掲げ、カニヤマ1次レベル病院の給水塔をバックに記念撮影をする視察団一行。

2023年9月4日、舞立昇治議員、青山繁晴議員がカニヤマ1次レベル病院を訪問しました。同病院訪問の目的は、ザンビアの保健セクターに対する政府開発援助（ODA）の視察であり、具体的には病院改修の無償資金協力とその後実施されている人材育成のための技術協力プロジェクトを視察することでした。

到着後視察団は、ウィルソン病院長と、JICAザンビア事務所、カシオペアプロジェクトチーム他、カニヤマ1次レベル病院の運営陣から歓迎を受けました。

カニヤマ地区は、人口50万人超のコンパウンドと呼ばれる貧困地域にあり、病院はその中核に位置し、多くの患者が訪れています。

視察団は、JICAによる新病院建設以前には外来部門として使用されていた旧病院棟の救急病棟を最初に視察しました。正面玄関に近い場所に設置されており、その後カニヤマ病院により改修されたことが病院長から説明されました。

視察団は次に、母子保健部門を訪れ、各月の帝王切開を含む分娩の統計の説明を受けました。その後、産後病棟の手術室、女性外科病棟、カンガルーケアに移動し、日本政府から寄贈されたレントゲン機材を視察しました。また薬局では、5Sカイゼン- Total Quality Improvement (TQM)活動が実施され、薬局の様子と在庫管理が改善されている様子を見学しました。

ウィルソン院長は視察団に対して、カニヤマの概要や人口、エビデンスに基づいた患者中心のケアを提供する最適な治療環境を実現するという病院のビジョンについて語りました。さらに、日本政府とJICAの支援が、人々の生活に大きな影響を与えていることを強調しました。インフラの面では、日本政府によって建設された新しい建物によって、提供されるサービスが向上し、改善されたことを述べました。

また、カシオペア・プロジェクトを通じて、設備や病院運営、患者の管理方法に関する技術的な知識の分野でも、継続的な支援が行われていることにも言及がありました。彼は、この継続的な協力とパートナーシップにより、サービスの質が向上することを期待していると述べました。

訪問中、アストリダ・マセカ郡保健局長は、国が地方分権政策を実施しており、サービスが地域社会の最下層に届き、医療を必要とする人々にも届くこと期待したいと述べました。

視察団から、カニヤマ1次レベル病院の優れた調整・管理システムに驚き、視察受け入れに対しての感謝の意が伝えられました。また、ザンビアと日本の国旗が掲げられた給水塔の高架は、日本とザンビアの間に存在する協力関係を象徴しており、視察団を驚かせました。



カニヤマ病院にてウィルソン病院長が視察団を歓迎。



妊産婦の分娩統計を視察団に見せるウィルソン院長。



カニヤマ病院薬剤部門で実施されている 5S-Kaizen、Total Quality Improvement (TQM)を視察。



米林JICAザンビア事務所長、カニヤマ1次レベル病院の運営部門、カシオペアプロジェクトメンバーと視察団。

カニヤマ病院部門表彰式で小児科が最優秀部門賞を受賞

カニヤマ1次レベル病院は、最も優れた部門を称える表彰式を開催しました。アストリダ・マセカルサカ郡保健部長、法月チーフアドバイザー、プロジェクトメンバー等が出席しました。カニヤマ病院の運営陣は、ウィルソン・ムベウェ院長の指導のもと、病院内で優れた業績を収めた部門を表彰しました。第3位は精神科、第2位には放射線科が選ばれ、そして小児科が最優秀部門を受賞しました。

スタッフや各部門の表彰は、業務へのモチベーションを向上させ、仕事への貢献に感謝の意を示すものです。また、優れた人材を確保し、スタッフのエンゲージメントを高め、高い業績を奨励するのにも寄与します。功績を称える表彰式はスタッフの士気を向上させ、患者に対して質の高いサービス・ケアを提供する上で大きく貢献しています。



最優秀部門の小児科にはDHDからトロフィーが贈られた。

感染の連鎖を断ち切るための感染予防管理 (IPC)

次レベル病院は、医療を求める人々にとって最初のケアポイントです。そのため、入院した患者が院内感染を起こさず、安全で清潔な環境が重要となります。適切な感染予防対策が欠如していると、医療施設における衛生設備、衛生サービスが不足し、患者が危険にさらされる機会が増加します。感染予防・管理は、患者の安全と質の高い医療サービスの重要な要素でありながら、近年は軽視される傾向にあります。病院における感染予防管理は、清潔で安全な医療サービスを確保し、院内感染を予防することを目的としています。

チレンジェ1次レベル病院は、カシオペア・プロジェクトの支援を受けて、感染予防チェックリストを使用し、病棟が感染予防ガイドラインに従い、病院周辺を清潔に保っていることを確認しました。2023年9月14日、カシオペア・プロジェクトチームとチレンジェ病院感染・予防チームは、病院内を巡回し、病棟が清潔に保たれていることを点検し、適切に機能する洗面台とそうでない洗面台を確認しました。今後は、このような検査を定期的に行う予定です。

これらの訓練は、清潔で安全な水、適切な手洗い、衛生設

備、廃棄物管理、清掃、滅菌を確実に実施し、感染予防と抑制を強化する一助となります。

清潔で健康的な環境を維持しながら問題を特定し、その解決方法を病院スタッフが知ることとなり、この活動は非常に有益なものとなりました。これらの活動により、病院内の健康の質が向上しました。優れた感染予防と管理の実践には、病院内、患者、そして地域社会全体への医療関連感染を確実に減らすための協調的かつ継続的なアプローチが必要です。



チレンジェ感染対策委員会とプロジェクト・チームのチレンジェ1次レベル病院IPCラウンドの様子。



フォト・フォーカス



バランス・スコアカード・モニタリング・ミーティングをマテロ1次レベル病院で開催。



IPC対策強化活動としてチパタ1次レベル病院におけるIPCラベリングの準備。



カニヤマ1次レベル病院での感染予防管理委員会の様子。



チャワマ1次レベル病院での医療機器委員会。



JICAザンビア事務所にて、対象病院の活動報告を行う村井短期専門家。



チレンジェ病院でのIPCラウンドで院内のIPC対策について説明するニャンガ専門家。



ルサカ州保健局にて、シムルヤマナ・チョオンガルサカ州保健局長、村井短期専門家、法月チーフアドバイザー。

編集・デザイン: エレン ムティナ チビリビリ
編集: 緒方 敬
編集長: 法月 正太郎

連絡先
法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化
プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,
10101, ZAMBIA